



SUMMIT
ONLINE
JAPAN

マルチユースのための映像ファイルベース 「TBS Fileland」の企画から導入まで

田邊 哲平

DXビジネス局 DXコンテンツ部

株式会社TBSテレビ

アジェンダ

1. 自己紹介
2. TBS FileInadとは？
3. 企画の背景と経緯
4. 検討の課題およびその解決
5. 導入と運用

自己紹介

自己紹介

田邊哲平

Teppei TANABE

経歴

2008-18 NTTドコモ 映像配信サービスの運営

2018- TBSテレビ VOD事業(SVOD/TVOD)に従事

得意なこと

- ・ コンシューマサービスの企画開発/運用
- ・ 映像コンテンツのマネタイズ
- ・ 映像ファイルのハンドリング
- ・ 業務(ops)におけるワークフローデザイン



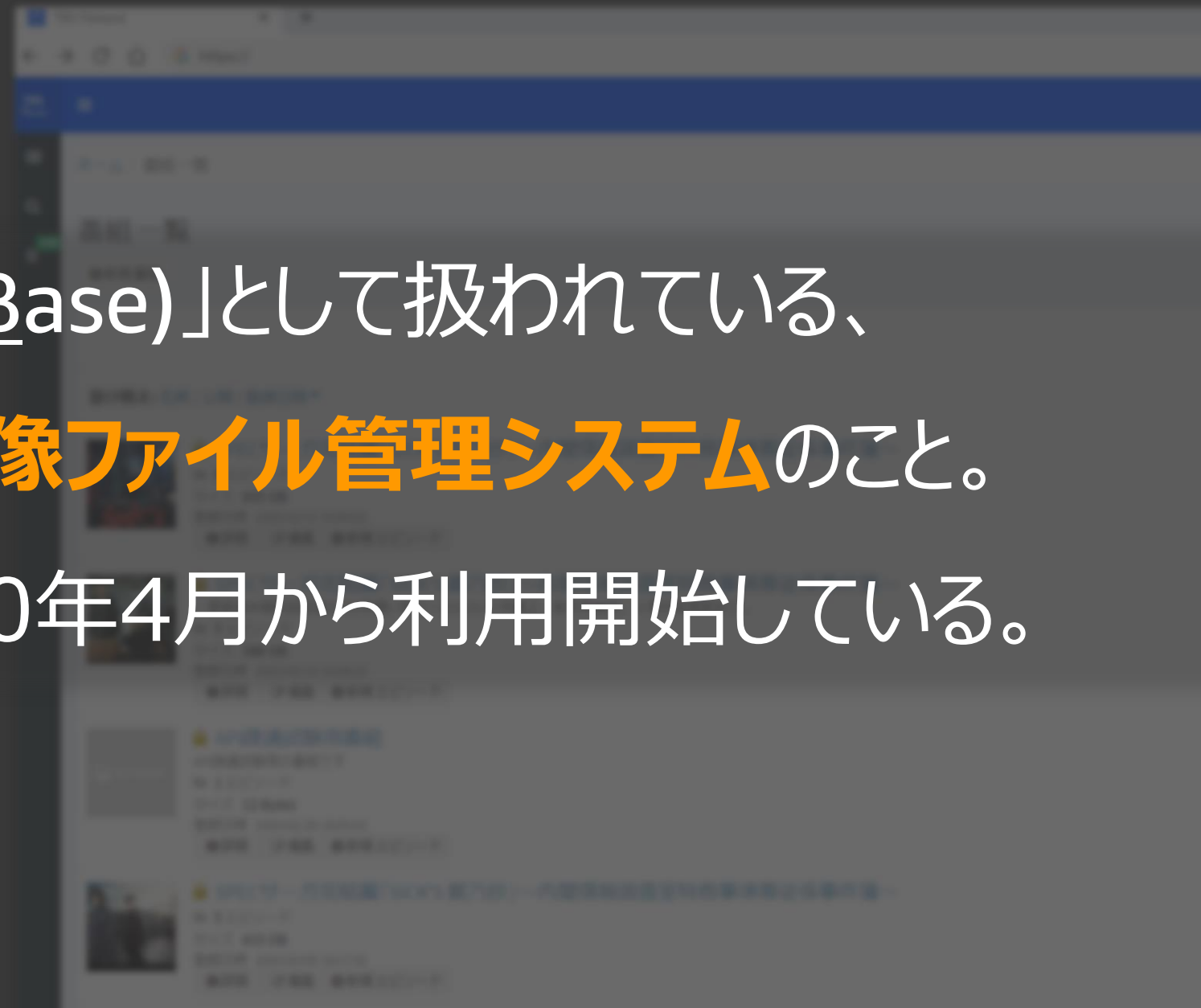
TBS Filelandとは？

TBS Filelandとは？

そもそも**TBS Fileland**とは？



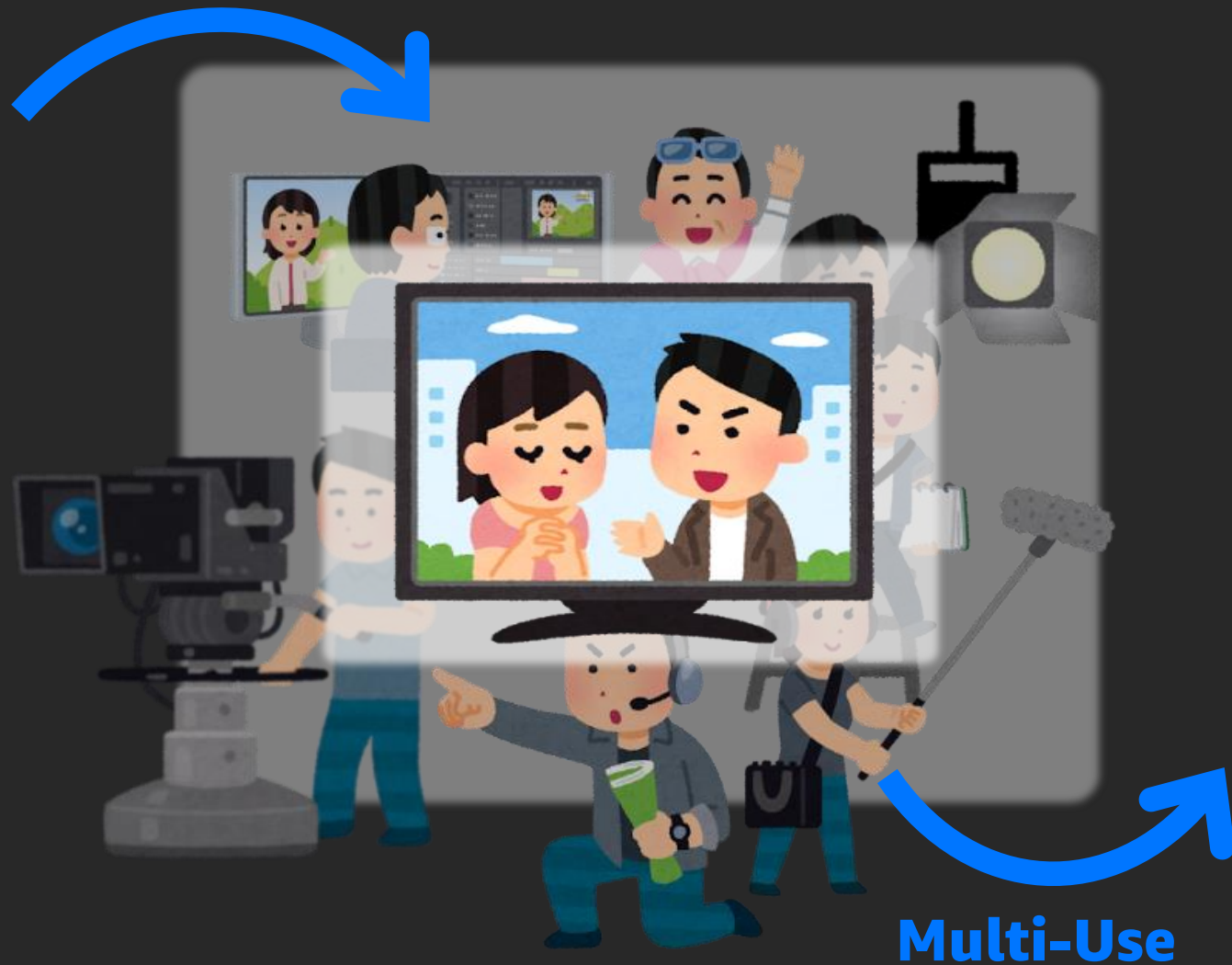
社内では「**MUFB (Multi-Use FileBase)**」として扱われている、
番組二次利用ビジネスのための映像ファイル管理システムのこと。
2019年6月より構想に着手、2020年4月から利用開始している。



企画の背景と経緯

TBSを取り巻く状況

One-Source



放送

地上波放送

ラジオ放送

BS放送

CS放送

ケーブルテレビ放送

IPTV放送

配信

AVOD

SVOD

TVOD/PPV

海外

海外番組販売（放送）

海外配信

番組フォーマット販売

パッケージ

BD/DVD販売

グッズ販売

映像部分借用

新たな事業

その他、

様々な“手段”で

視聴者様にお届けする

TBSの企業理念とブランドプロミス

TBSは愛されるコンテンツを創る。
愛されるコンテンツを、
さまざまな手段で届ける。
結果、
最高の“時”で、明日の世界をつくる。

(私の立場からの私的解釈)

企業理念

TBSグループは、
時代を超えて世界の人々に愛されるコンテンツとサービスを創りだし、
多様な価値観が尊重され、希望にあふれる社会の実現に貢献してまいります。

ブランドプロミス

私たちは、さまざまなフィールドで
心揺さぶる時を届け、社会を動かす起点を目指します。

あす
最高の“時”で、明日の世界をつくる。

From TBS

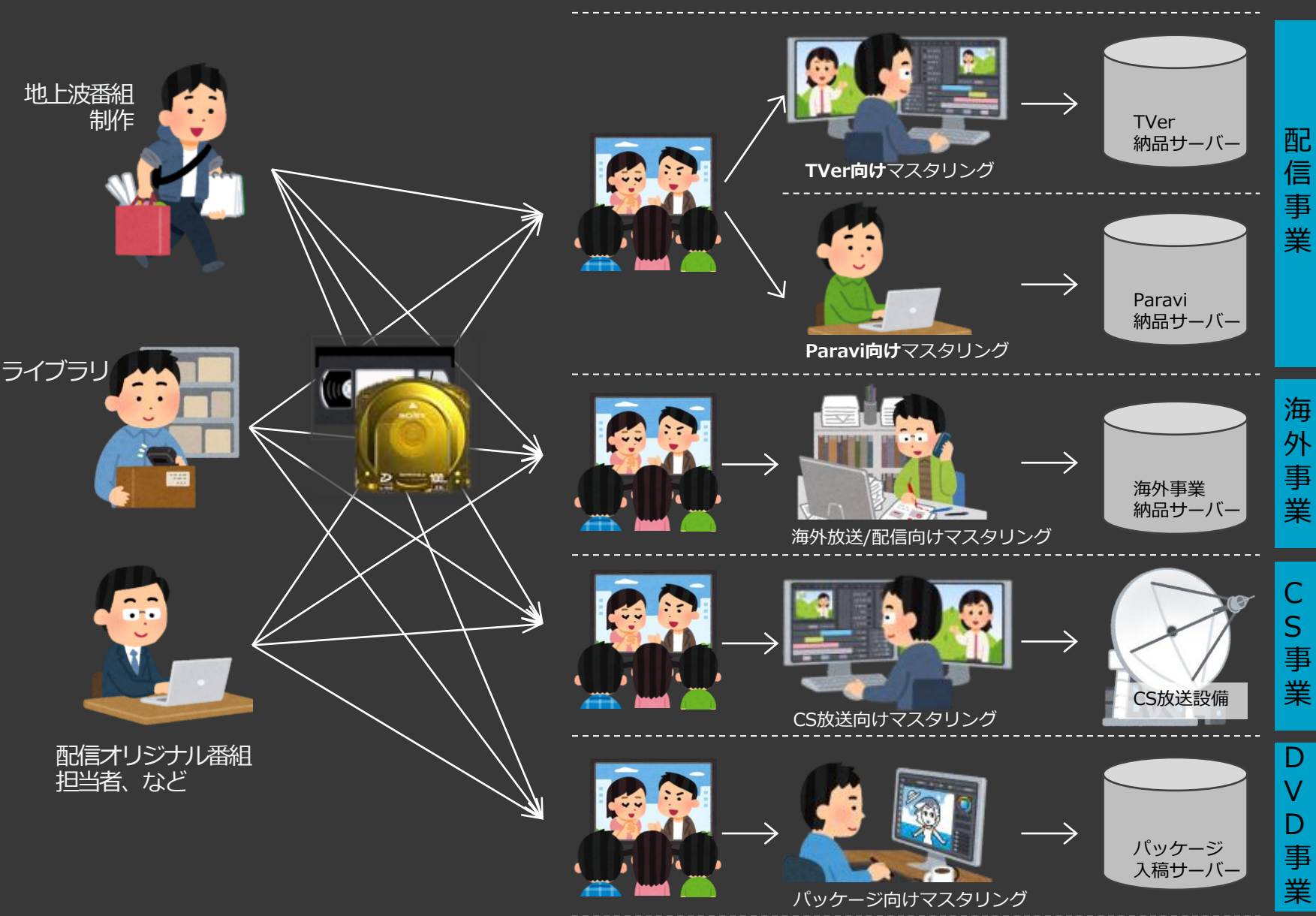
「さまざまな手段で届ける。」の課題

これまで

素材搬入

プレビュー
編集マスタリング

納品



背景/原因

- ✓ それぞれの事業でリーガルポリシーが存在
- ✓ 事業セクションが分かれている
- ✓ 業務システム(含むexcel帳票)がそれぞれに存在
- ✓ 納品ファイルフォーマットの相違
- ✓ タイムスケール上の作業タイミングの違い
- ,,, etc.

結果 (課題)

- 制作現場に負担増!
- 管理コスト増 & 重複作業コスト増!
- デリバリー (=ビジネス) の機会損失!

「さまざまな手段で届ける。」の解決

これから

素材搬入

プレビュー、編集マスタリング
元映像保管、各完パッケージファイル保管

納品

地上波番組制作

ライブラリ

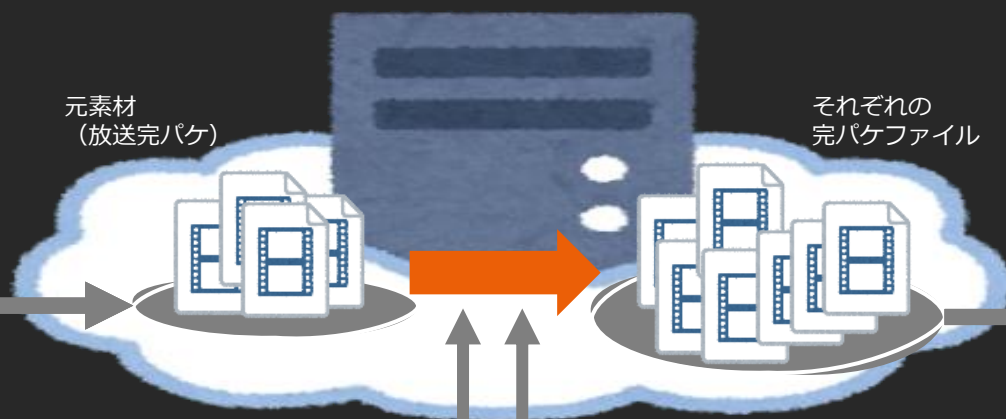


配信オリジナル番組
担当者、など

Web上に集約された「ワークスペース」

元素材
(放送完パッケージ)

それぞれの
完パッケージファイル



TVer
納品サーバー

Paravi
納品サーバー

海外事業
納品サーバー

CS放送設備

パッケージ
入稿サーバー



権利プレビュー



編集マスタリング

ポイント

- ✓ 素材の搬入は1箇所に、1回だけ
- ✓ 映像確認はいつでも、かんたんに
- ✓ 納品後ファイルの保管管理も全て1箇所で
- ✓ 映像を“探す”“取り寄せる”からの解放

さらには、、、

- ✓ 番組映像の留意事項も情報集約
- ✓ 開発資源の分散を防ぎ集中投下が可能に
- ✓ 未来の経営判断に柔軟に対応が可能

検討の課題およびその解決

まず直面した課題

クラウド？ オンプレミス？

クラウド or オンプレ論

クラウド

オンプレミス

可用性

十分

=

十分

性能・拡張性

優れている

>

初期設計が重要

運用・保守性

フルマネージドで安心

>

専門の人員が必要

移行性

撤退戦はしやすい

>

一度稼働すると困難

セキュリティ

最後は運用者に依存

=

コスト次第？

コスト

初期投資：小
運用費：大？

>

初期投資：大
運用費：小？

クラウド or オンプレ^ミ論

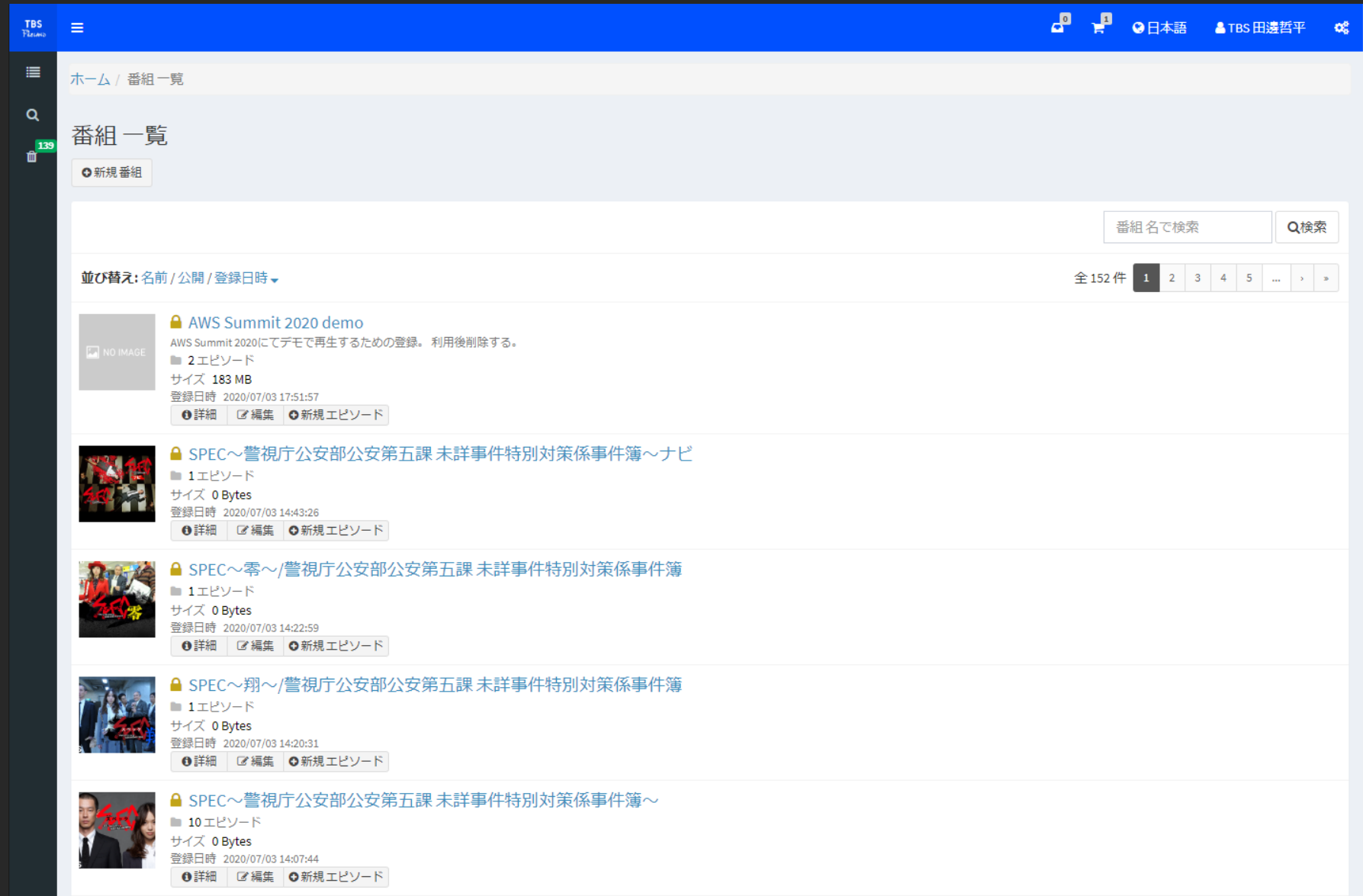
結論 : クラウド

決まり手 : 早く運用開始したかった

あとは芋づる式に決定

- イチから開発はしない → パッケージを導入しよう
- 現状の市場でのプレゼンスと将来のサステイナビリティを勘案し、アマゾン ウェブ サービス (AWS) ベースのパッケージを検討
- ビジネスパートナーであるIMAGICA Lab. 様の「TASKEE」をベースにしてミニマムカスタマイズを行い、運用開始することに

TBS Filelandの誕生



2019年6月 構想着手

2019年9月 社内オーソライズ

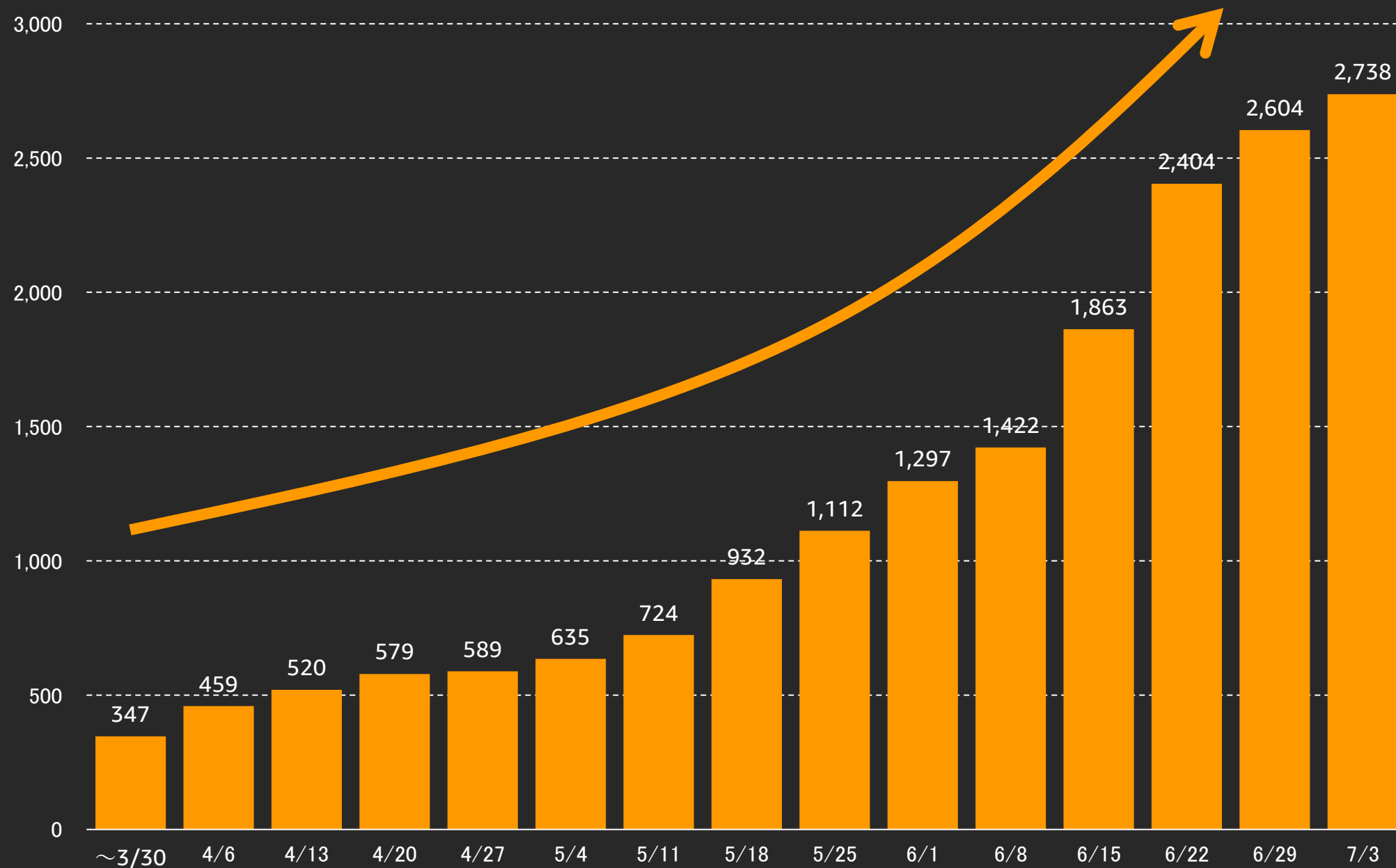
2020年10月 仕様検討着手

2020年2月 試験運用開始

2020年4月 本番利用開始

導入、その後

導入後、利用状況



アップロードファイル数の推移

アップロードファイル総容量の推移

3月末時点： 5.5 TB

4月末時点： 11.3 TB

5月末時点： 21.7 TB

6月末時点： 45.1 TB

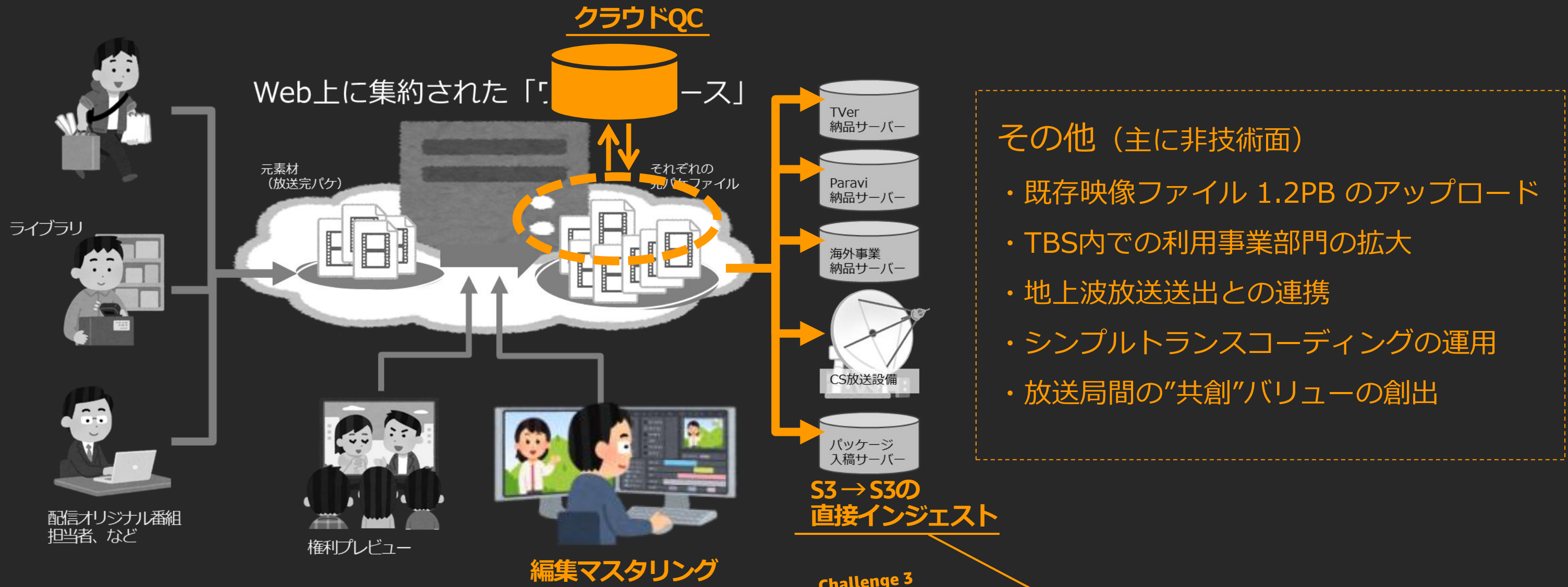
7/6 最新 : 47.6 TB

Amazon S3
Amazon S3 Glacier
の合計

今後の展望

Challenge 2

パカチェックや黒み検知、ブロックノイズ検出など、クラウド上でQCを行うことで業務大幅削減を目指す



Challenge 1

Amazon EC2を用いてクラウド上でNLEを動かし、マスタリングをワンストップで行う

Challenge 3

Amazon S3を納品先サーバーとしている事業者にも一度もローカルにDLせず納品を実現

Thank you!

Teppei TANABE

mail : tanabe.teppei@tbs.co.jp

twitter : [@tanabeteppei](https://twitter.com/tanabeteppei)